10/8(月) 体育の日は運動公園でスポレク

「体育の日」に市運動公園では「いきいきスポーツ・レクリエーションまつり」が行われました。まつりでは、運動公園内の各体育施設が無料開放され、それぞれの場所で体力測定や運動指導、ニュースポーツ体験会などが行われました。

また、多目的屋内運動場ではプロチームの琉球コラソンの選手によるハンドボールクリニックが行われ、参加した小学生達に指導を行いました。

参加した皆さんはスポーツ＆レクリエーションでさわやかな汗を流し、健康増進を楽しみました。

10/3(水) 青少年の健全育成のために

青少年健全育成のため「青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会」と「青色回転灯装備車両浦添市出発式および防犯パトロール・浦添地区地域安全運動出発式」がてだこホールで開催されました。

「総決起大会」では青少年の深夜徘徊防止と夜型社会の風潮の是正などに関係機関や市民が一体となって取り組むことが掲げられました。

また、総決起大会終了後には「出発式」が行われました。青少年の安全確保、犯罪防止を目的に地域安全運動期間中は防犯パトロールを実施しました。両イベントには約700人の方が参加しました。

10/17(水) 浦添市に美女集合

「第52回ミス・インターナショナル世界大会in沖縄2012」の開催期間中にチャイニーズタイペイ、ベリーズ、デンマーク、フィンランド、ドイツの代表５人が浦添市を訪れました。５人は、文化交流として養蚕絹織物施設サン・シルクで「うらそえ織の工房体験」をしました。

サンシルクでは、桑茶とちんすこうを試食をし「とてもおいしい」とおかわりをしていました。他にも、まゆから糸をひく体験、うらそえ織りの機織体験などをしました。機織の体験後は「楽しかった、織ったあとはどうなるの？」と職員に訊ねていました。

文化交流の後は、儀間市長を表敬し、市長から「沖縄のきれいな空、きれいな海を堪能しにまた来てください」と挨拶がありました。

10/9(火) 遺族と共に恒久平和を願う

沖縄戦終戦から67年が経ちました。浦添は戦火が激しく多くの犠牲者がでました。その御霊のご冥福を祈る「第66回浦添市戦没者追悼式」が10月９日に浦添城跡内「浦和の塔」で、行われました。遺族を含む約100人の参列者が、犠牲となった方々を追悼しました。

市長は「戦争の悲惨さを次の世代に継承していくことこそが、犠牲となられた方々の御霊を慰めることであると信じ、本市は恒久平和の確立に向けて不断の努力を続けます」と挨拶しました。

追悼式には、浦添市中学生平和交流団も参列し、平和を願うメッセージを読み上げました。

10/6(土)・10/7(日) スポーツの秋 自治会対抗陸上競技大会

清々しい秋晴れの中、10月６日、７日の両日、自治会対抗陸上競技大会が行われました。市民の健康を増進し、自治会の団結心も強まるこの大会には、様々な年代の選手が参加しました。

選手の皆さんは日頃の練習の成果を発揮し、ライバル達と競い合っていました。結果は下記のとおりです。

総合１位　西原自治会　　２位　浦西自治会
　　３位　小湾自治会　　３位　経塚自治会

この大会は県民体育大会の予選を兼ねており、成績の良い選手は浦添代表として県民体育大会へ派遣されます。

9/25(火)～9/28(金) 障がい者の雇用を応援

就労事業所の情報発信と事業所間の交流を図るとともに、広く市民に対して障がい者の雇用・就労について啓発をする目的で、市役所１階市民ホールで「就労支援事業所パネル展示および自主製品の販売会」が行われました。

販売会では弁当やパン、菓子類など各支援事業所の製品を買い求める人たちで賑わいました。

市障害者自立支援協議会の松茂良興さんは「このようなイベントを通し、働きたいという障がい者が増えることで、障がい者の雇用・就労の啓発が実現していきます」とイベント開催の喜びを語りました。

9/21(金) 交通事故のない安全な社会を目指して

交通事故の防止を目的に「秋の全国交通安全運動」が実施されました。関係機関・団体のほか、浦添工業高等学校から298人の生徒も参加し、交通安全のチラシ配布やのぼりの設置など、交通安全のアピールを行いました。

市役所では出発式が行われ、アトラクションとして、鼓衆若太陽のメンバーが演舞を披露し、出発式を盛り上げてくれました。

浦添工業高校２年の田場新之佑さんは「一人一人が譲り合いの気持ちを大切にし、事故を防ぐ努力をしましょう」と啓発をしました。